ネットトラブル、炎上の仕組み

北海道滝川高等学校　理数科４班
川田 悠太 ・ 長澤 颯音 ・ 長岡 祐汰

１．はじめに

最近 SNS を使っていると、多くの人からの誹謗中傷を受けている様子が増えているように感じた。テレビでもその話題が取り上げられるようになった今、どのようにして炎上が起こるのか、そしてその原因と解決策を突き止めるべく、私たちはこの研究に取り組んだ。

２．炎上とは

炎上とは、失言や不祥事などをきっかけに非難や誹謗中傷が集中する現象である。炎上を起こしてしまうと、個人情報の特定やさらなる嫌がらせなど取り返しの付かない事態になるケースもある。

３.炎上事例の紹介

言葉だけでは炎上がどの様なものか分かりにくいので、実際に起きた身の回りの有名人が起こした炎上事例を紹介しよう。

某市議当選者、ツイッターで差別

・某市議選に無所属で初当選
・裏アカウントで差別的な表現を含んだ書き込みをしていたことが発覚
・後日、実名のアカウントでこれらの書き込みについて謝罪したが、当選は取り消しになった。



図１　某市議当選者

アメフトタックル問題

・大学アメフト部監督が自チームの選手に「相手の選手を潰せ」と指示
・会見では自分の指示ではないと発言、けがを負った選手への謝罪はなかったためさらに炎上を加速させることになった。



図２　某監督

某アイドル未成年淫行事件

・自宅マンション内で未成年に強制わいせつを行ったことによってＴＯＫＩＯを脱退することになってしまった。
・復活する可能性が出てきている。



図３　某アイドル

有名な炎上事例として有名人が起こした事例を紹介したが、世の中に起きている炎上は一般人によるものがほとんどといえるだろう。主な原因は SNS（例 Twitter、Facebook、instagram、YouTube など）の普及と考えられる。SNS は投稿した内容が不特定多数の人が見ることができるようになる。軽はずみで投稿した過激な発言や行動が目を付けた不特定多数の人により次第に拡散され、炎上が起こってしまうのだ。

４．調査

４－１．仮説

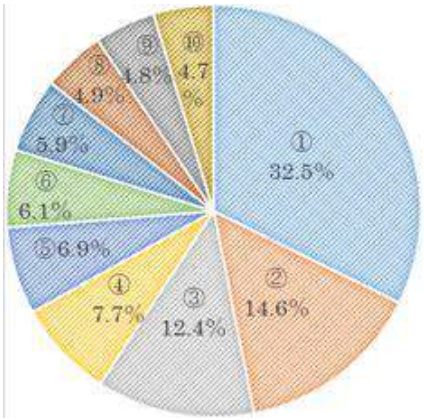
私たちは、炎上した投稿には何らかの傾向があるのではないかと考えた。

４－２．方法

(1) まとめサイトで炎上ツイートとしてとりあげられたツイートのデータを収集

（2）収集したデータをカテゴライズ化し、ランキング形式にまとめどの内容が炎上しやすいのかを考察する。

４－３．結果



１位　食品衛生系　３２．５％
・公共の場で食品を汚す行為をツイート
・半数は飲食店のアルバイトの投稿
・アイスケースに入るツイートが多い
２位　デマツイート系　１４．６％
・混乱を招く嘘の情報をツイート
・災害時にツイートされることが多い
３位　未成年喫煙・飲酒系　７．７％
・未成年者が喫煙、飲酒をツイート
４位　犯罪予告系　６．８％
・嘘の犯罪の予告をツイート
・予告された場所に警察が出動した事例も
５位批判　侮辱系　６位問題発言系
７位暴行系　８位器物損壊系　９位窃盗系
１０位その他
その他の内訳は患者のカルテを晒す
単位の不正入手　店員を土下座させる　公衆電話内で花火　線路内で写真撮影....etc

図４炎上ツイートのまとめ





図５食品衛生系の例　図６デマツイート系炎上の例





図７未成年喫煙・飲酒系の例図８犯罪予告系の例

４－４．考察

主にネットで有名になりたい人がいたずらをして炎上する事例が主だった。

ツイッターの炎上の最初の代表的な例がアイスケースに入る件だったため、食品衛生系が一位になったと考えられる。

今回作成したランキングの中で、一番注意すべき項目はデマツイート系だ。デマツイートを信じ込み拡散する事はいかなる理由があっても事実上炎上ツイートの拡散に加担したことになるからだ。これを防ぐためには、ネットの情報を鵜呑みにしない事、そしてニュースや災害地の公共機関からの情報を待つことだ。

５．まとめ

最後に炎上を防ぐ方法をまとめよう。

- ネット上に書き込む前に過激な表現、内容になっていないかを確認する事。
- ネット上の情報は色々な所の情報も参考に正しいかを慎重に判断する事。
- 炎上が起きた時、特定されないためにネット上に個人情報をかかない事。

楽しく安全にネットを使う為にも上記の事は最低限守ってほしい。

６．参考文献

Yahoo ニュース（https://news.yahoo.co.jp/）
レピュ研（https://repyuken.com/）
Twitter(https://twitter.com/)